

傾聴ボランティア交流会 in 下呂

活動報告

(平成 23 年 11 月 25 日)

秋の 1 日ここ一宮から紅葉に染まった山々を縫うように、41 号線を北へ北へとバスは登って行った。今日は傾聴ボランティア「みみの木」の研修旅行である。所々見覚えのある景色を通り過ぎ、大勢の方が向こうで待ってて下さると思うと、あっという間に目的地の下呂市に着いた。

下呂市社会福祉協議会の担当者のお世話で、山の上の景色の良いホテルで美味しい昼食を頂き、その後下呂市民会館で「みみの木」25 人と下呂市ボランティアさん 25 人の計 50 名での大交流会になった。

下呂市社会福祉協議会は 5 地区に分かれていて、それぞれに活動報告があり、皆様の傾聴活動への一生懸命さが伝わってきた。その後 6 テーブルに分かれての情報交換会が行われた。テーブルにはお茶とお菓子が用意されていた。

昨年、一宮市社会福祉協議会へ 18 名で来て下さったこともあり、直ぐに打ち解ける事ができ質問が飛び交った。下呂市社会福祉協議会の活動は、個人宅と心を病んだ方が対象で、傾聴の勉強は長い時間されているが「みみの木」の様にグループ化されていない為、ボランティア同士のふれ合いが少なく寂しい等の話が出た。

下呂市社会福祉協議会からは、1 メートルの紐と体を使っての思いやりがテーマのプレゼンを用意してくださっていた。私たち「みみの木」からは、テーブルの上のコップの水をこぼしてしまったときの対応で性格が分かると言うミニ心理学チェックと、会の紹介や傾聴スキルをパネルを使ってプレゼンを行った。

帰りは 3 時に出発したが、この季節、日が暮れるのが早く、一宮に着いたときは真っ暗だった。下呂の会場では終了後皆と話し合いが持たれ、とても良かったので、これからも何らかの形で交流をしていきたいとの嬉しい電話があり、離れていても傾聴と云う赤い糸の絆で結ばれていると思える研修会だった。

下呂市と一宮市の社会福祉協議会様、素晴らしい出会いができて有難うございました。

傾聴ボランティア「みみの木」

